

# 評価結果報告書

## 地域密着型サービスの外部評価項目構成

	項目数
<b>I. 理念に基づく運営</b>	<b>11</b>
1. 理念の共有	2
2. 地域との支えあい	1
3. 理念を実践するための制度の理解と活用	3
4. 理念を実践するための体制	3
5. 人材の育成と支援	2
<b>II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>	<b>2</b>
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応	1
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援	1
<b>III. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>	<b>6</b>
1. 一人ひとりの把握	1
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し	2
3. 多機能性を活かした柔軟な支援	1
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働	2
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>	<b>11</b>
1. その人らしい暮らしの支援	9
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり	2
<b>合計</b>	<b>30</b>

事業所番号	2170400671
法人名	有限会社 ジョイケアサービス
事業所名	グループホーム ジョイ
訪問調査日	平成20年12月27日
評価確定日	平成21年1月21日
評価機関名	NPO法人 ぎふ住民福祉研究会

**○項目番号について**  
 外部評価は30項目です。  
 「外部」の列にある項目番号は、外部評価の通し番号です。  
 「自己」の列にある項目番号は、自己評価に該当する番号です。参考にしてください。  
 番号に網掛けのある項目は、地域密着型サービスを実施する上で重要と思われる重点項目です。この項目は、概要表の「重点項目の取り組み状況」欄に実施状況を集約して記載しています。

**○記入方法**  
 [取り組みの事実]  
 ヒアリングや観察などを通して確認できた事実を客観的に記入しています。  
 [取り組みを期待したい項目]  
 確認された事実から、今後、さらに工夫や改善に向けた取り組みを期待したい項目に○をつけています。  
 [取り組みを期待したい内容]  
 「取り組みを期待したい項目」で○をつけた項目について、具体的な改善課題や取り組みが期待される内容を記入しています。

**○用語の説明**  
 家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。  
 家族 = 家族に限定しています。  
 運営者 = 事業所の経営・運営の実際の決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)を指します。経営者が管理者をかねる場合は、その人を指します。  
 職員 = 管理者および常勤職員、非常勤職員、パート等事業所で実務につくすべての人を含みます。  
 チーム = 管理者・職員はもとより、家族等、かかりつけ医、包括支援センターの職員等、事業所以外のメンバーも含めて利用者を支えている関係者を含みます。

# 1. 評価結果概要表

作成日 2009年1月15日

## 【評価実施概要】

事業所番号	2170400671		
法人名	有限会社 ジョイケアサービス		
事業所名	グループホーム ジョイ		
所在地 (電話番号)	〒501-6331 岐阜県羽島市堀津町横手1丁目36番地 (電話) 058-392-1431		
評価機関名	NPO法人 ぎふ住民福祉研究会		
所在地	岐阜県羽島市竹鼻町狐穴719-1 はしま福祉サポートセンター内		
訪問調査日	平成20年12月27日	評価確定日	平成21年1月21日

## 【情報提供票より】(20年12月18日事業所記入)

### (1) 組織概要

開設年月日	平成 17 年 2 月 1 日		
ユニット数	1 ユニット	利用定員数計	9 人
職員数	14 人	常勤 6 人, 非常勤 8 人, 常勤換算 8.4 人	

### (2) 建物概要

建物構造	木造 造り		
	2 階建ての	1 階部分	

### (3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	25,000 円	その他の経費(月額)	20,000 円	
	有( ) 円	○ 無		
保証金の有無 (入居一時金含む)	有( ) 円	有りの場合 償却の有無	有/無	
食材料費	朝食	200 円	昼食	350 円
	夕食	350 円	おやつ	100 円
	または1日当たり		1,000 円	

### (4) 利用者の概要(12月18日現在)

利用者人数	8 名	男性	4 名	女性	4 名
要介護1	2 名	要介護2	0 名		
要介護3	5 名	要介護4	1 名		
要介護5	0 名	要支援2	0 名		
年齢	平均 86.9 歳	最低	74 歳	最高	101 歳

### (5) 協力医療機関

協力医療機関名	丸の内クリニック、あおき歯科
---------	----------------

## 【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

グループホームジョイは、羽島市の南に位置していて畑と民家、工場、倉庫が点在する地域にある。ホームの入り口の横にはテラスがあり、開放感あるホームの様子が伝わる。ケアの特徴としては地域とのつながりを大切にしている毎月1回発行し、地域の方たちや他の関連事業所に管理者自ら手渡ししている「ジョイだより」は季節の行事や音楽療法の様子などが親しみのある文章で綴られている。月2回のケア会議は職員全員で話し合い、活発な意見交換をしてケアの取組みを行っている。小学校へのホーム訪問や連絡推進会議の委員の全員参加など取組む課題は残されているが地道な努力を重ねて着実にケアの向上を進めているホームである。

## 【重点項目への取り組み状況】

重点項目①	<p>前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)</p> <p>前回の評価で改善課題となった理念の再検討、ターミナルケアの方針については現在取り組み中である。</p>
	<p>今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)</p> <p>管理者は職員と共に自己評価を行い、自分たちの現状把握を行った。作成した自己評価を運営推進会議で共有を図っている。</p>
重点項目②	<p>運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6)</p> <p>家族代表、民生委員、町内代表、地域包括センター職員が参加しており、各自から色々な意見が出ている。ここでの意見は職員で共有されてサービスの向上に活かしている。</p>
重点項目③	<p>家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8)</p> <p>利用者の家族が頻繁に来所される人が半数近くおり、その場で意見、苦情の汲み取りをおこなっている。また、年2,3回の家族の意見を聴く場を設けている。この内容を元に出るものはすぐに行っている。</p>
重点項目④	<p>日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)</p> <p>職員が地域の住民であることもあり、暖かく迎えられる。近所には工場が多いためホームの周りに住宅が少なく、日頃の付き合いが難しい状態である。</p>

## 2. 評価結果(詳細)

(  部分は重点項目です )

取り組みを期待したい項目

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
<b>1. 理念と共有</b>					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	地域密着型サービスとしての理念 ホーム独自の理念が作成されているが、地域密着型を意識した理念とはなっていない。	○	前回の調査でも「取り組みに期待したいこと」に挙がっていたが地域密着を意識した理念の検討を期待したい。
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	管理者、職員は会議の場などで理念の再確認を行っており、理念を意識した介護を行っている。		
<b>2. 地域との支えあい</b>					
3	5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	職員が地域に住んでいる事もあり地域の方も暖かく迎えてくれる環境ができています。		
<b>3. 理念を実践するための制度の理解と活用</b>					
4	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	自己評価を職員と共に行い、自分たちの現状把握を行っている。外部評価の結果を全員で検討している。職員は外部評価結果をじっくり確認するために自宅に持ち帰るなど積極的な取り組みで臨んだ。		
5	8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	家族代表、民生委員、町内代表、地域包括センター職員が参加しており、各自から色々な意見が出ている。ここでの意見は職員で共有されてサービスの向上に活かしている。		

グループホーム ジョイ

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	9	<p>○市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	市町村の窓口には相談などでその都度出向いている。		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	<p>○家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	「ジョイだより」にて施設全体の事をお知らせし、「ジョイニュース」にて各利用者の詳細を担当者とケアマネジャーからの報告を記載している。家族が来所した時に話をしている。		
8	15	<p>○運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	利用者の半数近くの家族がよく来所しており、その折に意見などを頂いている。年に2,3回家族の意見を聴く場を設けている。		
9	18	<p>○職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	年間計画は作成されていないが職員に対して積極的に外部研修の参加を勧めている。また研修を受ける職員に対してスケジュール調整を行うことで負担の軽減を図っている。		
5. 人材の育成と支援					
10	19	<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	年間計画は作成されていないが職員に対して積極的に外部研修の参加を勧めている。また研修を受ける職員に対してスケジュール調整を行うことで負担の軽減を図っている。		
11	20	<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	知り合いの同業者と運営者が情報交換を行っている。同業者の知り合いを訪問したり、来所したりと気軽に交流する関係がある。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	管理者、ケアマネージャーが利用者を訪問するようにしている。利用者にホームに来所して頂き、馴染めるよう努めている。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	一人が全てやるのではなく、できる事を利用者と共にやっている。花の世話や干し柿の作り方など利用者教わり共に行っている。		
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	利用者に声かけをして会話の中での一言からも意向や希望の把握に努めている。さらに、言葉で表出できない利用者には何気ないしぐさからも把握に努めている。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	月2回の会議で職員からの気付きや家族からの意見を職員全員が共有し、介護計画作成を行っている。		
16	37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	利用者の状況の変化があった場合はケアマネージャー(看護師)に連絡を行い、介護の方針とケアプランについて検討を行っている。見直しが必要な場合は適宜行っている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>3. 多機能性を活かした柔軟な支援</b>					
17	39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	自宅に寄ったり、身内の結婚式に出席に同伴したりするなど柔軟な対応をしている。		
<b>4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働</b>					
18	43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	かかりつけ医を希望する利用者にはそのまま利用してもらい医療機関との連携をして適切な医療を受けられるようにしている。		
19	47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	ターミナルケアについての家族の意向を話し合う場を設け、確認しながら今後の対応を考えている。また、医師、職員とも話し合い方針の確認をしている。		
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
<b>1. その人らしい暮らしの支援</b>					
<b>(1)一人ひとりの尊重</b>					
20	50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	トイレなどの誘導ではさりげない声かけを心がけている。個人の記録は見えない場所に置くなどの配慮がある。		
21	52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	ホームの日常は利用者のペースや希望に合わせた暮らしにしている。起床時間や食事の時間も利用者によっては一人ひとり思い思いの過ごし方となっている。		

グループホーム ジョイ

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援</b>					
22	54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食事の献立を相談したり、食事の準備や食後の後片付けなど利用者の持っている力に合わせての参加をしてもらっている。		
23	57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	一人ひとりの希望に添って、ほぼ毎日入浴している。		
<b>(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援</b>					
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	利用者は生活歴や持っている能力に合わせて洗濯物たたみ、食器拭き、花の水遣り、ホームの鍵の開錠、新聞とりなどそれぞれの役割をもっている。		
25	61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	天気の良い日はホームのテラスで日なたぼっこやお茶を飲んだりしている。また洗濯物を干すのを手伝ってもらうなど散歩の他にも外気に触れる支援がなされている。		
<b>(4) 安心と安全を支える支援</b>					
26	66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	居室に鍵はない。また、玄関の鍵も日中は掛けることなく利用者の暮らしができています。外に出る利用者も止めることなく後ろからついて行き納得するまで付き合うことで解決できています。		
27	71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	今年は実施できなかったが防火管理者の講習参加や火災警報器の設置などに取組んだ。工場、倉庫などもある地域で、夜間も人がいるため協力依頼をしている。地域に対してホームの避難訓練等の参加を呼びかけているが現時点では参加が得られていない。	○	運営推進会議などを利用して地域の方の参加を依頼する働きかけを今後も根気よく続けることを期待したい。

グループホーム ジョイ

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事摂取と水分摂取は排泄とのバランスを考えて促している。また、栄養士の資格を持つ職員が定期的に栄養バランスのチェックをしている。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1)居心地のよい環境づくり					
29	81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	これまでの居間を利用者の生活スタイルに合わせて空間を広くしたり、畳の上りスペースを除くなどのリフォームをして寛ぎやすい空間となっている。		
30	83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	利用者一人ひとりの暮らしに合わせて馴染みの物を入れていて居心地よい空間となっている。		